大交流時代への新たな航海(たびだち)!

～海・しま・大地とひとが奏(かな)でる活気みなぎるまちづくり～

広報ひらど

Hirado City Public Relations

2007 August 8 平成19年

No.023

天使の歌声が　教会に響き渡る

～掛屋剛志君コンサート～

Contents

特集「距離～勇気を出して～」	▶P02	平戸遺産～日中交流の証～	▶P24
イベントインフォメーション	▶P14	平戸オランダ商館風説書、おしえて年金	▶P25
市職員を募集します！	▶P16	みんなの図書館	▶P26
Ｈｏｉ！ひらど（最終回）	▶P17	平戸市からのお知らせ	▶P27
まちのひとびと	▶P18	情報ひろば	▶P30
まちのできごと	▶P20	人口の動き・編集室からひとこと	▶P32

Hirado City Public Relations

Hirado city Public Relations
2007.8 VOL.23
広報ひらど　平成19年8月号

R100 古紙配合率100%再生紙、大豆油インキを使用しています。

［編集・発行］平戸市企画課　〒859-5192 長崎県平戸市岩の上町1508番地3
■TEL／0950-22-4111(代)　FAX／0950-22-5178　■URL http://www.city.hirado.lg.jp
■E-mail kikaku@city.hirado.lg.jp　■印刷／有限会社ケンポクプリント

出会い、交流、今年も多彩に　■今年はモダンダンスと絵画■

12xHolland 2007

2000年の「日蘭交流400周年記念事業」で始まり、今年で８回目を迎える「12ｘおらんだ」。

今年もオランダで活躍している芸術家が平戸に１か月間滞在し、ワークショップや展覧会、発表会、伝統行事、日常生活などを通じて、オランダと日本のさまざまな交流を行います。

オランダでの参加者選考の結果、ダンサーのアネス・カーネンさんと、画家のアネリンデ・デ・ヨングさんが今年の参加者に決定しましたので、お知らせします。

お問い合わせ　企画課地域振興班（☎内線2335）

12×おらんだ
www.12xHolland.nl
12xHolland
Hirado, Japan

参加者紹介

アネス・カーネン
／モダンダンス

Profile

ロッテルダムのコーダーツ・ダンスアカデミーにて、モダンダンスとジャズダンスを専攻、2005年に卒業する。オランダや海外で、ダンサー、ダンス活動、振り付け師などとして活躍している。

参加者紹介

アネリンデ・デ・ヨング
／絵　画

Profile

アムステルダムのリットフェルト芸術アカデミーにて、絵画美術を専攻、2007年に卒業する。さまざまな材料を駆使したコラージュ（現代絵画の一技法）による絵画を得意とする。

◎今月の表紙

７月21日、聖フランシスコ・ザビエル記念教会で開かれた「掛屋剛志君コンサート」からの一コマ。視覚・知的障害を持つ掛屋くんの歌声は「天使の歌声」と称されており、各種メディアにも数多く出演しています。当日は、教会の荘厳な雰囲気の中に掛屋くんの澄み切った歌声が響き渡り、観客を魅了しました。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

◎人口の動き

■平戸市人口／38,512人（−51）
男性／18,108人（−20）
女性／20,404人（−31）
■世帯数　14,539戸（+1）
※（）は、前月との比較
平成19年7月1日現在

Editer's

編集室からひとこと

今月号では、「距離～勇気を出して～」と題して、障害者に関する特集を組みました。障害を持っている人たちの貴重な体験談や思いを取材する中で、驚きや感動があり、そして、たくさんの勇気をもらったような気がします。「みんなは一人のために、一人はみんなのために」この言葉のように、思いやりのある社会が実現できればと願っています。たくさんの感想をお待ちしています。（黒）

今月は、イベント情報や暮らしのカレンダーにあるように、11日の平戸南風夜風人まつり「夏の陣」から始まり、各地区の夏まつりや花火大会、須古踊りや平戸のジャンガラなど、さまざまなイベントが目白押しです。私は、今年はできる限りいろいろな地区の催しにでかけたいと思っています。市民のみなさんも、この機会に、自分の住んでいる地区以外の催しにぜひ出かけてみてください。（神）

特集 Special Edition

距離 ～勇気を出して～

distance ~pluck up the couarage~

あなたは「障害」と聞いて、何を連想するだろう。
全国には約700万人、平戸市には３千人を超える人たちが
何らかの障害を持って暮らしている。
障害を持っているだけで、数多くの困難を抱え、
我慢を強いられることもある現代社会。
今月号では、「障害」にスポットを当て、
障害者に立ちはだかるさまざまな問題を探り、
誰もが共に支え合って暮らせるまちとは何なのかを考える。

※この写真はイメージ写真であり、実際の登場人物の日常生活を描写したものではありません。(撮影協力：生月中学校)

Special Edition
「距離」
～勇気を出して～
distance ~pluck up the couarage~

第１章
chapter 1

「障害」
～「社会の壁」と「心の壁」～

「障害」は不幸か？

「障害」という言葉に不幸なイメージを重ねたことがないだろうか。現代社会において、健常者から見た障害者は、社会的風潮として「弱者」というイメージがあるのは否定できない。

しかし、障害を持っていることが本当に不幸なのだろうか。障害を持っていることで、いろんな道を閉ざされたり、さまざまな困難や我慢を強いられたりすることがある。障害を持つことが不幸なのではなく、健常者と同じように生活できない社会があるということが、障害者にとっての不幸なのではないだろうか。

「障害」は、体の不自由な「身体障害」、知的能力に障害がある「知的障害」、統合失調症など精神に障害がある「精神障害」の大きく３つに分けられる。

こうした障害を持つ人たちが、健常者と同じように不便なく暮らせる社会の実現には、まだまだ多くの問題が立ちはだかっている。ここでは、障害者を取り巻くさまざまな問題を２つの大きな「壁」ととらえ探っていく。

これまでの社会に見える「社会の壁」

これまでの社会が生み出した目

障害者に対する壁として、まず考えられるのが物理的な壁である。特に、身体に障害を持つ人にとっては、日常生活の中で、健常者では気付くことができないさまざまな壁がある。

最近よく「バリアフリー」という言葉が使われているが、バリアフリーとは、「バリア＝障壁、障害物」、「フリー＝束縛・制約などがない」という言葉を合わせた言葉で、「障害者や高齢者の生活に不便な障害を取り除き、生活しやすくする」という意味である。

近年、バリアフリー化が進められてきたとはいえ、一部の施設や場所などでしかバリアフリー化は見られない。段差や傾斜が急なスロープ、手の届かない自動販売機や公衆電話など、数え出せば切りがない。身体に障害を持つ人にとって、健常者と同じように生活できる環境はまだ整っていない。

このほか、視覚や聴覚に障害を持っている人にとっては、情報の壁も考えられる。時刻や信号機の確認、家電製品の取り扱い、新聞やテレビなど、社会のさまざまな情報を健常者と同じように収集することは難しい。それらに対応するには、点字や音で情報を提供する機器やサービスが必要だが、物理的な壁と同様にいまだ環境は整っていない。

また、各種の資格取得や入学・就職試験など、障害を持っていることで制約がかかってしまう制度的な壁も考えられる。

このような「壁」が作られた背景には、障害者への配慮が欠けたまま、生活の便利さや豊かさを求め続けてきたこれまでの社会がある。健常者にとっては便利なことが、障害者にとっても必ず便利だとは限らない。逆に不便さを拡大することもあるのだ。

しかし、そのことに気付かず生活している人は少なくない。「社会の壁」が取り除けない大きな原因は、そこにあるのではないだろうか。

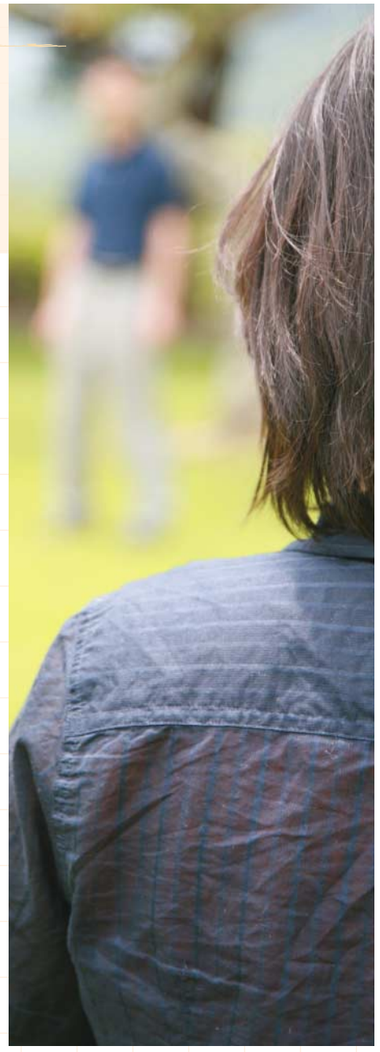
誰もが住みよいまちの整備を

医療法人 医理会
柿添病院

理学療法士
大山　盛樹（せいじゅ）さん
／猪渡谷町

定期的に理学療法の学生と、柿添病院から平戸大橋付近まで、電動車いすの体験をしています。

カラフルな歩道や植え込み、街灯はきれいですが、路上駐車がしやすくなっていたり、道路との段差や壊れている箇所など、車いすには大変危険です。景観も重要なまちづくりの一つですが、障害者や高齢者など誰もが安心して暮らせるまちの整備が必要だと思います。



偏見・無関心が生み出す目には見えない「心の壁」

次に障害者の壁として挙げられるのが、「心の壁」である。誰しも一度は「かわいそう」「大変」などと思ったことがあるのではないだろうか。健常者の一方的な偏見や無関心さが障害を持つ人をどれほど傷つけているだろう。健常者の心無い言葉や態度に、心に傷を負った障害者も少なくない。「普通と違う」といった偏見が、「障害なんて自分には関係ない」といった無関心が、社会の風潮となり、障害者が社会参加する上で最も大きな壁となっている。

生まれながらに障害を持っている人は、幼少期まで自分のことを障害者とは意識していない。それは、障害のある生活が当たり前になっているからだ。

しかし、成長して行くにつれ、保育園や学校など、社会に出て初めて、他人と比べて障害を持っていることに気付かされる。だからといって、今まで障害と共に生きてきているため、健常者と比べて不便だと感じても不幸だと感じることはない。

健常者は、障害を持つ人と接するとき、自然と「特別視」してしまう傾向がある。「接し方がわからない」「かわいそう」などといった先入観が、障害を持つ人との壁を知らず知らずに作っている。障害を持っている人も逆に、こういった経験から「心の壁」を作り、自分の殻に閉じこもってしまう。健常者の偏見や無関心さが、お互いの間に不要な壁を作ってしまっているのだ。

目には見えない「心の壁」は、障害者に対して特別視してしまう健常者だけの問題ではなく、障害者側にも問題がないとは言い切れない。障害を持つ家庭の中には、「心の壁」があることで、傷付くことを恐れ、表に出すことを嫌う人もいれば、障害を持つ家族を隠そうとする人たちがいるのも事実だ。

「心の壁」は最も大きな障害

人は、一人では生きられない。健常者でも、さまざまな人の助けや理解が必要である。「自分は健康だから」「他人事」と思っていても、いつ病気になったり、事故に遭ったりするかはわからない。もし、自分が障害を持つことになったら、周囲の理解なくして幸せは望めない。

人は誰でもいつかは弱者となり、人の助けが必要となる。それは「老いる」という現実。

「老い」は、加齢と共に体力の低下や記憶力の低下など心身の機能を低下させる。「老いる」ということは、万人共通のことであり、高齢化社会の中にあって誰もが理解していることだ。

では、障害に対する理解はどうだろう。実際には、当事者や家族などにしか理解が得られていないのが現状である。目に見えない「心の壁」は、これまでの社会が作り出してしまった、最も大きな障害である。「社会の壁」は、バリアフリーという言葉が浸透している社会にあって、まだまだ不十分ではあるが少しずつ改善されている。

しかし、この「心の壁」は、一人ひとりの意識一つで、作り出すことも無くすこともできる。バリアフリーは、社会の壁を取り除くだけの言葉ではない。「心の壁」を取り除く「心のバリアフリー」という考え方も必要である。健常者と障害者の心の距離は、まだまだ遠い。誰もが共に支え合って暮らしていくためには、この心の距離を縮めていくことから始まるのではないだろうか。それができて初めて、「社会の壁」「心の壁」が取り除けるはずだ。

気持ち一つで人はいくらでも輝ける

身体障害者相談員

今浦ヒロ子さん
／田平町小手田免

身体、そして心の痛み。自分だけが苦しんでいるという思いが、心の壁を作っているように思います。私も障害を持っていますが、障害の有無に関わらず、人は気持ちの持ち方でいくらでも輝くことができると信じています。「手を貸してくれませんか？」、この言葉が簡単に当たり前に言えるようになること、それがお互いの距離を縮める第一歩になるのではないでしょうか。

Special Edition
「距離」
～勇気を出して～
distance ~pluck up the couarage~

第2章
chapter 2

「現実」
～自分らしく、ありのままに～

車いすの少年、富岡大志（たいし）くん

生まれながらに脊椎に障害を持って生まれた富岡大志くん。彼は、この障害で下半身を自由に動かすことができないため、1日のほとんどを車いすで過ごしている。人生の中で、最初に出会う小さな社会、「学校」。彼が、この学校で、どのような生活を送っているのか。「これが自分だ」と、前向きに生きる大志くんの生活をリポートする。

「これが自分だ」

障害を持つ子どもたちが、健常者と同じように勉強できるよう、小・中学校などにおいて、特別支援教育の推進が図られている。校内の支援体制の整備のほか、個別の教育支援の計画や指導計画の作成、学校評価に特別支援教育の項目を設定するなど、近年、特別支援教育の充実が図られてきた。特別支援学級と通常学級の交流、共同学習なども実施されており、誰もが平等に教育を受ける環境が整いつつある。

市内には、身体の不自由や情緒障害、知的障害など小・中学校合わせて30人が特別支援学級で授業を受けている。大志くんもその中の一人だ。現在は、生月中学校の3年生。1年生まで通常学級で授業を受けていたが、同様の授業を受けることが難しくなり2年生からこの特別支援学級に入った。

大志くんは生まれながらに脊椎に疾患を持っている。病名は、「二分脊椎（にぶんせきつい）」。二分脊椎は、生まれつき脊椎の癒合が完全に行われず、一部開いたままの状態にあることをいう。その中には、脳からの命令を伝える神経の束（脊髄）が、形成不全を起こしさまざまな神経に障害を起こす場合もある。大志くんの場合は、下半身に障害が起き、自由に動かすことができない。

「これが自分だと思っています。障害者だとは思ったことはありません」と大志くんは力強く話した。

「できることは自分で」

大志くんの朝は早い。午前6時40分、いつものように早起きする。大志くんの部屋は2階にあり、起きたら階段を腕の力だけで降り、朝ごはんを食べる。朝ご飯は欠かさず、しっかり食べるそうだ。自分一人で身支度を済ませ、午前8時、大志くんのお母さん美加代さんが運転する車で学校へ登校する。玄関には、階段があるため、2階の渡り廊下に車を隣接して、そこから車いすで教室に向かう。

大志くんの通う生月中学校は、山田・旧生月中学校が統合し、昭和44年に校舎が完成。当時は、バリアフリーの概念がなかったため、至る所に段差や階段があり、身体に障害を持つ人にとって、校内を自由に行動することは難しい。

「入学するときに、学校と話し合って、教室の入り口にスロープを設置してもらいました。あと、できる範囲でですが、大志の行動範囲にもスロープを設置してもらいました」と美加代さん。このほか、大志くんが階を移動するのは難しいため、各階に車いすを設置した。大志くんが階を移動するときは、生徒や先生が大志くんの体を抱えて移動している。「最初は、なかなか手伝うことができなかった生徒たちも、今では自然と体が動くようになりました」と、担任の中村先生。バリアフリーに対応していない場所は、先生、生徒が協力している。

特別支援学級の授業は、基本的には個別指導。学校では、生徒の障害の程度によって、個別の教育支援の計画や指導計画が立てられ、その子に合った教育を行っている。大志くんの場合、下半身に障害を持っているだけなので、授業の教科によっては、通常学級で授業を同様に受けている。個別の対応が効果的な教科については、個別指導を受けているという状況だ。大志くんの得意な教科は、国語。「漢字が得意です。苦手なのは、理科かな」と照れ笑いしながら話す。

通常学級でも授業を受けている大志くんだが、休み時間などは、ほとんど特別支援学級にいる。「同世代の子たちと話すよりかは、大人と話すときのほうが生き生きしてますね。やはり大人は、自然に接してくれるからかもしれません。部活とか共通の話題が見出せないのか、同世代の子たちと話す時は少し緊張といるけど、どう接していいかまどっているんでしょうね。お互いにきっかけを待っているんだと思います」と美加代さんは話す。

特別支援学級には、1年生の田中久司くんというクラスメイトがいる。大志くんと彼は、小さいころからの友だち。学校生活も彼がいるときは、とてもにぎやかになるという。

「お互いにきっかけを待っているんでしょうね」

「中学入学時、最初は親への甘えがありましたが、特別支援学級に移ってからは自立心が芽生えたように思います。後輩の入学が大きかったのかな。そのころから、周りの人に自然とありがとうって言える様になりました」と美加代さんは当時を振り返った。

授業が終わると、美加代さんの車で帰宅する。帰宅してからの楽しみは、テレビ鑑賞。スポーツが好きな大志くんは大の相撲好き。特に、生月町出身の力士「隆乃若」の話になると、大志くんの顔から笑みがこぼれる。

大志くんは、家の中では車いすは使わない。だからといって家族に甘えているわけではない。「自分でやりたいんです」と大志くんは力強く話す。美加代さんも、そうしつけてきた。以前は甘えのあった大志くんも、成長するにつれ、自分でやろうと努力してきた。お風呂やトイレなど、今では誰の手も借りずに一人でできるようになった。就寝前、大志くんは2階の自分の部屋に戻る。階の移動は、家族に抱えられての移動だ。唯一、大志くんの行動で、家族の協力なしにはできないことである。

自立に向かって

大志くんは、現在、3年生。進学の時期を迎えている。第一志望は、県立諫早養護学校。この学校では、自立に向けたプログラムが多く用意されているという。

「諫早に進学したら、一人で生活をしないといけない。不安な面はあるが、自立のきっかけになればと思っています。いつまでも親はいないし、弟の希望には希望の人生がある。自分の人生を自立して送ってほしい。ただ、できないことがあるのは事実なので、その部分は変に遠慮せず、素直に人を頼ってほしいですね」と、美加代さんは願う。

「特別な生き方をしているように思われているかもしれないけど、自分たちにとっては、この生活が『当たり前』なんです。だから、大志は小さいころから人前に連れ出すようにしていました。何も隠す必要はないと思っています。『普通』『当たり前』って一体何なのか、それは一体どこにあるのかわかりません。希望もあります。自分の兄が障害者だとは思っていませんし、普通の兄弟だと思っています。それは、弟にとっても兄の姿が『当たり前』だからなんです。大志も自分の障害に悲観的になったのを見たことがありません。『これが自分だ』といつも話しています」と、美加代さんは話す。

大志くんには、今、夢がある。「車いすマラソンをやってみたいですね。いつかパラリンピックに出たい」と、七夕間近の7月2日、大志くんは、短冊にこう願いを込めた。

夢はパラリンピック出場 車いすマラソンをやってみたい

▲生月町出身の力士「隆乃若」の話になると夢中になる大志くん

自立するには周囲の理解が不可欠です

生月中学校
特別支援学級担任

中村　妙子さん
／生月町南免

Taeko Nakamura

障害を持っていることで、自分の殻に閉じこもってしまい、自立への道を自ら閉ざしてしまう子も少なくはありません。障害を持っていても、社会参加している人はたくさんいます。障害を持つ子どもたちが、一人の人間として社会に出て行くためには、周囲の理解が不可欠です。障害に対する偏見や無関心さがなくなれば、障害を持つ子どもたちの未来も、きっと明るいはずです。

一人の人として接して欲しい

生月中学校
３年生

江口　一真くん
／生月町壱部浦

Kazuma Eguchi

車いすの富岡くんと出会って、こういう障害を持つ人もいるんだなあと思いました。障害者について、最初は、「不自由で可哀想」というふうに思っていました。だけど、富岡くんと出会ってから自分の考え方が180度変わりました。障害を持っていても、自分の考えをしっかり持っていました。みんなも「障害者」だからと同情の目で見るのではなく、一人の人として接してほしいと思います。

Special Edition

「距離」
～勇気を出して～
distance ~pluck up the couarage~

第３章

chapter 3

「自立」
～障害を乗り越えて～

身体障害
亀渕佐喜子さん
／大久保町

視覚障害
大津かほるさん
／田平町山内免

身体障害
末吉 研太さん
／下中野町

◎三者×対談◎「障害を語る」

障害者に立ちはだかる「心の壁」と「社会の壁」。
一般的な社会生活を送ることをあきらめている人も少なくない中で、
幾多の困難を乗り越え、社会に出て活躍している人がいる。
視覚障害者の大津かほるさん、身体障害者の末吉研太さん。
障害を持つ一人として亀渕佐喜子さん（市福祉事務所）が司会進行役として、
体験談などをもとに「障害」について語っていただきました。

亀渕　大津さん、ちょっと私の手に触ってみていただいてよろしいですか？

大津　（手を握る）あ、分かります。

亀渕　私は生まれつき両手・両足に障害があるんですよ。でも、手術が早かったお陰で、自分の足で歩くことができるんです。

大津　私は、出身は北九州で高校まで普通高校に通っていました。高校１年生の途中からだんだん視力が落ちてきて、緑内障という病気だったんですけど、20歳までに手術を計十数回したんですが視力は回復せずに、結局高校は中退したんです。20歳の時に、「このままじゃ私何にもできない人になってしまう！」って思いまして、それを機に地元の北九州の盲学校に入りました。そこで５年間勉強して、鍼灸（しんきゅう）とマッサージの資格を取ったんです。で、25歳で卒業して、すぐに今の主人と結婚して現在に至っています。

末吉　僕は今から16年前かな…平成３年に交通事故に遭って、首の骨を骨折しました。そのせいでほとんど全身まひみたいな感じになって、今では何とか車いすを自分で押して生活できるかなというくらいの障害ですね。

亀渕　障害を持ったことによって、悩まれたり苦労したりされたことはありませんか？

大津　盲学校に入ってからがいろいろありました。全く見えない人から、片方見える人、今は見えても将来見えなくなる人、いろんな人たちがいるんです。それに私は、普通高校から盲学校に移ったということもあって、年もみんなより年上でしたしね。そこで初めて点字をやりだしたんですけど、もう点字ってね、割と単純な仕組みでできてるので覚えるのは簡単なんですけど、指で読むっていうのがもう並大抵じゃないんです。ちょうどちっちゃい子が、覚えたての文字を読みながら本を読むような感じで、１文字１文字指で触りながら読んでいくっていう感じで、ものすごく点字では苦労しました。もうノイローゼになるんじゃないかと思うくらい悩まされました。その時のイライラっていうか、ストレスっていうか、それはもう自分の中ではすごかったですね。

亀渕　苦労されたんですね。末吉さんはどうでしたか？

末吉　１か月くらいしたら元気になって普通の生活に戻れるかなって思ってたんです。それが、ちょうど入院して１か月くらいしたときに、医者から「もう元の体には戻れません。良くて電動車いすでの生活になるでしょう」って言われたんですね。その時にちょうど姉から千羽鶴が送られてきて、母親と二人で無言のままずっと涙を流しました。でも、その涙を自分で拭くことができないんですよ。「何もできないんなら死んだ方がマシだ」って、正直何も考えられなかったですね。

亀渕　そういった苦悩された時期があって、そこからどうやって今の自分に結びつくことになったのか。そのきっかけは何だったんでしょうか。

末吉　そうですね。労災病院に転院したとき、自分と同じようなけがをして、一人暮らしをしている女性の方と知り合いました。リハビリの先生に「頑張れば彼女のような生活ができるまでになれる」と言われ、自分も一生懸命頑張ればそれなりに生活ができるかなと思えて。だからその人に出会ったことが大きかったかな。

大津　私も、盲学校で自分と同じような障害を持った子たちとの出会いがあって、今まで自分が知らなかった世界でいろんなことを学ぶことができました。そして、今の主人と出会ったんです。人との出会いって本当に大事ですよね。

末吉　そうですね。

亀渕　そういうのは本当に大事にしたいですね。では、大津さんの隣に座っているハート（盲導犬）のことをお聞きしたいんですけど、出会いはいつごろだったんですか。

大津　ハートと出会ったのは平成17年の４月です。盲導犬と暮らし始めたのは、昭和52年の秋ごろですかね。結婚して子どもができて、ちょうど２、３歳になるときくらいでした。ハートは４頭目の盲導犬になります。

亀渕　平戸で盲導犬を見たのは初めてなんですよ。

大津　そうですね。今、県北ではこの子だけなんです。

亀渕　盲導犬と暮らすようになって、大きく変わったところはありますか？

大津　どこにでも１００％行けるわけじゃないですけど、今まで不便だった部分の半分以上は解決できたかなと思います。

亀渕　盲導犬を希望される方は多いと聞きますけど、まだまだ数が少ないようですね。

大津　今年で国産の盲導犬が誕生して50年になるんですけど、まだ全国で９５０頭前後しかいないんですよね。

亀渕　今後増えていくといいですね。末吉さんは、車いすバスケをされてらっしゃるそうですが、始めたきっかけや、競技について聞かせてもらっていいですか。

末吉　病院に入院してるときに、同じようなケガをしてる人に誘われたのがきっかけですね。自分がやってるのは、上肢に障害があってもできるツインバスケットっていうんですけど、普通の高さのゴールともう一つフリースローサークルの中に１ｍ20㎝の高さのゴールがあって。首のけがって、上の方と下の方で障害のレベルが全然違うんですけど、これはどんな障害があってもできるようにって、日本で考えられた競技なんです。

▲出掛けるときはいつも盲導犬ハート（4歳・メス）と一緒という大津さん。人生のパートナーでもあるハートとは、強い絆で結ばれています。

▲下肢の障害を持っていても、車を改造すれば運転もできるんですと笑顔で末吉さん。大好きなバスケットのためにいつも車で佐賀まで練習に行っているそうです。

▲福祉事務所の窓口でさまざまな障害を持った人と触れ合う機会が多いと亀渕さん。市民のみなさんが、気軽に訪れることができる窓口業務を心掛けています。

「でも、その涙を自分で拭くことができないんですよ」

「なんか手伝うことありますか」の一言だけでいいんですよね

大津　なるほど。

亀渕　平戸にも末吉さんのほかに、車いすバスケをやってる方はいるんですか？

末吉　ちゃんとチームに入って競技に参加しているのは、自分だけだと思います。今はチームを作って週に1回佐賀の方で練習しています。大会は年に4～5回ぐらいはあるんですが、なかなかこっちではないですね。

亀渕　ぜひ、一度拝見したいですね。

亀渕　さて、今回の特集のテーマが健常者と障害者の「距離」なんですが、お二人はどう感じられますか？

大津　相手も障害者と話していると、やっぱり緊張したり気を使ったりしますよね。「障害を持った人たちとどう接したらいいんだろう」「何をしてあげたらいいんだろう」とすごく悩むそうなんですね。何も悩む必要なんてなくて、一緒に行動してくれる、それだけでいいんです。「こういうことを手伝ってください」とこちらからお願いしたときに、それを手伝ってくだされば、それで十分なんです。それ以上に何かしてあげないといけない、という風に構える必要は全然ないんですよね。

亀渕　やはりそこが何て言うんでしょう、お互いの距離になるんでしょうか。

末吉　なんかしてあげなきゃいけない、みたいな気構えがですね。

大津　手伝ってほしいとき、私は「肘を貸してください」って言うんです。それでも支障もなく歩けるわけです。どうかすると必要以上のことをしていただくことがあり、戸惑ってしまうことがあります。

亀渕　本来のボランティアって、その方ができないことを補助してあげるということなんじゃないかなと思います。

末吉　「なんか手伝うことありますか」の一言だけでいいんですよね。

亀渕　そういった「壁」をできるだけ無くすにはどうしていけばいいかと考えるときに、健常者だけが方法を考えるのではなく、私たち障害者も一緒になって考えることが必要なのでしょうね。具体的にどうすれば、お互いの距離が縮まると思いますか。

大津　そうですね。昔と違って今は、障害について学ぶ機会があるので、子どもたちは、障害に対しての知識というかわかってきているのかなって思いますね。とにかく、障害者が外に出るっていうことが大事ですよね。障害者を見ても珍しくないっていうか、そういう状態になるのが一番良いと思いますけどね。

亀渕　お互いに壁を取り除くわけですね。

大津　健常者の人に、障害者のことを理解してあげてって言っても無理な話なんですよね。分かってほしいと言うけど、分かりようがないですよ、普段接していないと。例えば、私は視覚障害のことは分かるけど、ほかの障害を持っている人のことは正直ほとんど分かりませんし。実際お話ししてみて、「ああ、なるほど、そうなんだ」「そんなに不便なんだ」と発見することがいっぱいあるんですよね。平戸の町に出掛けたりするときに、不自由に思ったことはありますか？

「まずはあいさつからって感じですかね」「健常者からするとすっごく勇気のいることらしいですよ」

末吉　う～ん、買い物とかほとんど平戸ではしないですね。出掛けるとしたらたまに市役所に行くくらいかな。そこに停めて買い物に行こうと思っても、段差とかがあったりして行けないので、佐世保とかに車で出掛けますね。

亀渕　段差とか、意識がないとホントに普段気付かないところですもんね。

末吉　それと、せっかく身障者用の車イスマークの駐車場があっても、他の車が止まっていて利用できないことがありますね。仕方ないので普通の所に停めようとしても、幅が狭くて停められない。

亀渕　モラルというか、周りに理解を求めることが必要なんでしょうね。

大津　米国なんかはほとんど点字ブロックなんかないそうですよ。どうしてだろうと思ったんですけど、誰でもかれでも自然と手を貸してくれるから必要ないって聞いてから、「あ、なるほど！」って思いました。

亀渕　もう、自然に受け入れてるという感じなんでしょうね、米国では。

末吉　（障害者が）いるのが当たり前みたいなね。

大津　ほんっとノーマライゼーションですね。そういう人がいて当たり前っていう。

亀渕　小さいところから何かきっかけを作っていけたらいいですね。

　それでは、これからやってみたいこととか、目標や夢をお聞かせください。

大津　今、そうねえ、パソコンをもっと上手に使いこなせるようになりたいかな。使い始めてだいぶ経つんですけど。障害者のためのパソコン教室というのがないんですよね。教えてくれる人が周りにいないんで、なっかなか進まないんです。

末吉　僕は、車いすバスケットの一番近い大会が9月に大村であるので、それには優勝したいかな、という感じですね。あとは、そうですね、車いすバスケット以外のスポーツにもチャレンジしてみたいですね。

亀渕　わかりました。今日は本当にお忙しいところ集まっていただいてありがとうございました。貴重な体験談を聞くことができて、また、自分自身、障害について話すことができていい経験になりました。ありがとうございました。

大津・末吉　ありがとうございました。

Special Edition

「距離」
～勇気を出して～
distance ~pluck up the couarage~

第４章

chapter 4

「共生」
～理解・尊重・勇気～

変わりつつある
障害者を取り巻く環境

健常者と障害を持っている人が、お互いに区別されることなく、普通に暮らすことができる社会のことを「ノーマライゼーション」という。この社会の実現には、行政はもちろん、事業所や市民、地域社会が一体となって理解し合い取り組むことが必要である。

国においては、平成18年4月に、障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援するための法律として「障害者自立支援法」が施行された。

また、平戸市では、「健やかで笑顔とやさしさがあふれる地域社会の形成」を目指し平成19年3月に「平戸市障害者計画」を策定した。この計画では、保健・医療・福祉はもとより、就労や教育、まちづくりなど広範囲にわたって、障害者福祉施策の基本的方向性を明らかにしている。

障害者も健常者も誰もが同じように笑い、喜び、苦しみや悲しみを共有できる社会を目指して、今、障害者を取り巻く環境は変わりつつある。

障害者や高齢者だけでなく
全ての人に優しいまちづくり

このような中、このノーマライゼーションの理念が地域に浸透していくには、一人ひとりが「社会の壁」「心の壁」を、自分自身の課題として受け止めて、積極的に関わっていくことが何よりも重要である。

近年、進められているバリアフリー。いわゆる「社会の壁」は少しずつではあるが取り除かれつつある。しかしながら、バリアフリー化が進んできているとはいえ、利用しにくい場所や施設があることも事実。果たして法的な設置基準をクリアしていればバリアフリー化と言えるのだろうか。法的な設置基準をクリアしている施設であっても、障害者にとっては「使いづらい」という声もある。

要は、障害者の目線にたった整備が大事で、その声をまちづくりに生かしていくことが必要なのである。

ただし、あくまでバリアフリーはスタートライン。今後はバリアフリーの考え方をさらに進め、能力や年齢、国籍、性別などの違いを超えて、すべての人が暮らしやすいように、まちづくり、ものづくり、環境づくりを行っていこうという考え方も広げていかなければならない。

ただ、目に見える形で不便さを解決するには限界がある。足りない部分は、きめ細やかな対応やサービス、心づかいなど、「心」で補っていくことも必要である。

障害はその人の持つ「個性」

人には、さまざまな個性がある。目が大きい、小さい、背が高い、低いなど、全く同じ人間はいない。障害もその「個性」と考えてみてはどうだろうか。目が悪い人が眼鏡を使う、耳が悪い人が補聴器を使う、足が不自由な人が車いすを使う。そこにどんな違いがあるだろう。

さらに、障害を得手・不得手に置き換えてはどうだろう。人には、得意なこと、不得意なことがある。スポーツが上手だったり、歌が上手だったりと。やはり人それぞれである。例えば、国語が苦手なら、得意な人から教えてもらえばいい。逆に数学が得意なら人に教えてあげればいい。そう考えると、何もお互いに身構えることはないのだ。障害を持っていることに、「引け目」を感じることはない。また、健常者も障害に対して不幸なイメージを持つことはない。障害をその人の持つ一個性と考えれば、偏見や無関心さは無くなるはずである。目に見えない「心の壁」は、お互い人間同士が作り出したもの。だとしたら、それを取り除くのも同じ人間なのである。

気軽に声をかけてみよう
それが、共生への第１歩

障害を持っている人は、自立しようと、さまざまな困難などに立ち向かっている。人は誰でも、一人では生きられない。どんなに頑張ろうとしても、その時、誰かの心ない言葉や態度があったらどうだろう。誰しも「孤立」してしまうのではないだろうか。お互いを理解し、尊重する。障害を持っている人もそうでない人も、お互いに歩み寄ることが大事である。

勇気を出して、お互いに声をかけてみよう。勇気を出して１歩踏み出そう。勇気を出して歩み寄ろう。そうすれば、きっとお互いの距離は縮まるはずだから。

障害者にやさしいまちづくり。子どもやお年寄り、そして誰もが、安心して暮らせるまちづくり。誰もが支え合い、助け合って共に生きる社会を実現するには、一人ひとりのちょっとした勇気が必要だ。

さぁ、まずは気軽に声をかけてみよう。それが、共生への第１歩なのだから。

（特集「距離～勇気を出して～」終わり）

Pick Up 01

平戸の花火大会スケジュール

平戸の夜空を 大輪の花火が彩る

市民のみなさんお待ちかねの花火大会が今年は下記の日程で開催されます。
みなさんお誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

8月11日（土） 午後5時～午後9時30分

平戸南風夜風人まつり「夏の陣」

／平戸港交流広場

田助ハイヤ節の披露や女性腕相撲大会、夜神楽の奉納、福引大会などが開催され、祭のクライマックス（午後8時30分～）には、約2,600発の花火が打ち上げられます。

■関係イベント
「コックスフェスタ・王国祭」
／英国商館通り（木引田町）・みやんちょー番街（宮の町）
○と　き　8月4日（土）午後6時～午後9時30分
「納涼お化け屋敷 」
／旧かまぼこセンター（崎方町）
○と　き　8月11日（土）午後5時～午後9時30分

お問い合わせ　観光商工課観光班（☎内線2273）

8月12日（日） 午後3時～午後9時30分

第21回大島村夏祭り花火大会

／大根坂漁港埋立地

魚のつかみどりやストラックアウト、福引や「すこぶるパッション」、「CHAPPY（チャッピー）」によるショーなどが行われます。午後9時からは、約1,000発の花火が打ち上げられます。

お問い合わせ　大島支所産業振興課（☎内線6150）

8月15日（水） 午後7時～午後9時

舘浦花火大会

／舘浦漁港

生月大橋をバックに、午後８時から打ち上げ花火、水中仕掛け花火など約1,200発の花火が夏の夜空を彩ります。会場では、青年団主催の盆踊りやカラオケ大会などのイベントが花火大会に華を添えます。

お問い合わせ　舘浦漁業協同組合（　53-1515）

8月17日（金） 午後2時～午後10時

たびら夏祭り（シーサイド花火大会）

／田平港一帯

午後２時から開催される「カブトムシ王決定戦」を皮切りに、田平権現太鼓の披露や瀬戸のカラオケ大会、納涼総踊り、ダンスカーニバルが行われます。午後９時からは、平戸大橋をバックに、約3,000発の花火が打ち上げられ平戸瀬戸を彩ります。

お問い合わせ　平戸市商工会（☎57-0223）

Pick Up 02

昆虫をとおして自然の不思議を学ぼう！

世界の昆虫展in瀬戸山

／カトリック田平教会信徒会館

8月12日（日）～8月19日（日）
午前10時～午後4時

■イベント内容
・烏山邦夫神父コレクション『昆虫標本10,000種』
・高橋裕二コレクション『生体・世界のクワガタ・カブトムシ』
・世界に知られる驚異の昆虫映像『栗林 慧の世界』
・プロフォトグラファー浜崎さわこ『瀬戸山散歩フォト』

■関連イベント［8月12日（日）・18日（土）開催］
『竹細工で昆虫を作ろう!』　午前10時～午後3時
／カトリック田平教会信徒会館
『夜の観察会』　午後7時30分～午後9時30分
／たびら昆虫自然園

申込み・お問い合わせ
世界の昆虫展実行委員会
（教育委員会田平分室内）☎内線5012

Pick Up 03

締め切りまであと1か月。お早めにご応募ください！

平戸大橋架橋30周年記念

ひらどツーデーウォーク

西海国立公園の大パノラマを見るコース
9月29日（土）／会場 生月町開発総合センター
教会群とオランダ商館をめぐるコース
9月30日（日）／会場 平戸文化センター

■応募方法
○参加資格　大会のきまりや公衆マナーが守れる人。
年齢、性別、国籍は一切問いません。
○参加費
事前受付　大人1,500円・高校生　800円
当日受付　大人2,000円・高校生1,000円
※中学生以下は無料。弁当代500円は別途予約が必要。
○申込期限　９月７日（金）
※これ以降も受け付けますが、大会誌などに名前が掲載されない場合があります。
○大会ボランティアも募集しています！

申込み・お問い合わせ
ひらどツーデーウォーク大会実行委員会
（生涯学習課内）☎内線2624

行動力ある、熱意溢れる
市職員を募集します！

平戸市では、わたしたち職員とともに、平戸を愛し、
平戸の未来を担うことができる、新しい力を募集します！！

【試験職種・受験資格など】

(1) 定期募集(採用予定日　平成20年4月1日以降)

試験区分	試験職種	職務内容	採用予定数	受験資格基準
資格免許職	保健師	専門技術の業務	若干名	① 昭和48年４月２日以降に生まれた人 ② 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)の規定による保健師の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 採用後、平戸市に居住できる人
資格免許職	看護師	専門技術の業務	若干名	① 昭和48年４月２日以降に生まれた人 ② 保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)の規定による看護師の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 採用後、平戸市に居住できる人
資格免許職	栄養士	専門技術の業務	若干名	① 昭和48年４月２日以降に生まれた人 ② 栄養士法(昭和22年法律第245号)の規定による管理栄養士の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 採用後、平戸市に居住できる人
資格免許職	消防士Ａ	専門技術の業務	若干名	① 昭和55年４月２日以降に生まれた男子 ② 救急救命士法(平成３年法律第36号)の規定による救急救命士の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 身体強健で、色神、聴力、言語および運動機能などに障害がなく、次の身体基準を満たす人 ・身長160cm以上、体重55kg以上で、胸囲は身長の２分の１以上ある人 ・視力は、両眼で0.7以上(一眼でそれぞれ0.3以上であること。矯正視力を含む。)、かつ、赤色、青色および黄色の色彩の識別ができること。 ・聴力が正常な人 ・体質壮健で四肢完備し、その活動が自由な人 ・感染性疾患のない人 ・精神機能が完全な人 ・言語は、明瞭で充分発声のできる人 ④ 採用後、平戸市に居住できる人
高校卒業程度	消防士Ｂ	専門技術の業務	若干名	昭和58年４月２日から平成２年４月１日までに生まれた男子で、上記「消防士Ａ」欄の要件のうち③および④の要件に全て該当する人

(2) 特別募集(採用予定日　平成19年11月1日以降)

試験区分	試験職種	職務内容	採用予定数	受験資格基準
資格免許職	薬剤師	専門技術の業務	若干名	① 昭和43年４月２日以降に生まれた人 ② 薬剤師法(昭和35年法律第146号)の規定による薬剤師の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 採用後、平戸市に居住できる人
資格免許職	診療放射線技師	専門技術の業務	１名	① 昭和48年４月２日以降に生まれた人 ② 診療放射線技師法(昭和26年法律第226号)の規定による診療放射線技師の免許を持っている人、または平成20年４月中に免許取得見込みの人 ③ 採用後、平戸市に居住できる人

○一次試験　平成19年９月16日(日)　　**○受付期間**　平成19年７月17日(火)～平成19年８月17日(金)

○申込方法

・申込用紙は、総務課人事班、各支所総務企画課および各出張所で交付します。
・申込用紙を郵便請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と朱書し、120円切手をはったあて先明記の返信用封筒を必ず同封してください。

◇申込み・お問い合わせ

〒859-5192　平戸市岩の上町1508番地３　総務課人事班(☎内線2316)
E-Mail　jinji@city.hirado.lg.jp

Hoi! ひらど

国際交流員
イムケ・シモニスさん

平戸での国際交流員としての３年間の期限が近づき、この記事を書きながら、平戸に住んだこの３年間を振り返っています。この３年間、私はたくさんの貴重な経験をすることができました。そして、一生忘れることができない思い出ができました。

「Doei！ひらど」

国際交流員として平戸に来るまで、私は正直に言うと、ここ平戸の歴史やオランダとの関係について、ほとんど知りませんでした。しかしこの３年間をとおして、仕事やプライベートで、日本や平戸とオランダの関係について、さまざまなことを学ぶことができました。

また、日本に住むことで、母国オランダを振り返り、改めて気付かされることもありました。

国際交流員としての仕事は、楽しいことがたくさんありました。「12x おらんだ」や「青少年日蘭交流事業」などの翻訳や通訳、そして、この記事「Hoi！ひらど」を書いたことなどです。

中でも、私が一番楽しかった仕事は、学校訪問だったかもしれません。最初のころは、市内各地の小学校を訪問することが、不安でたまりませんでした。母国語ではない英語を本当に教えることができるのだろうか、今まで教壇に立った経験が無い私が、本当に子どもたちに教えることができるのだろうか、理解してもらえるだろうか、などさまざまな心配が頭をよぎったからです。

しかし、学校訪問を重ねていくうちに、大事なことは外国語を教えることではなく、子どもたちが、外国について学ぶことでいろいろな文化に興味を持つようにそのきっかけをつくることなのではないか、ということに気付きました。

授業が終わった後、子どもから手紙をもらったことがあります。手紙には、「今まで英語が嫌いだったけど、外国の文化や外国語に興味が出てきました」というメッセージがありました。学校訪問に力を入れて活動して、何より嬉しかった瞬間でした。

この３年間、頻繁に訪れることができた学校もあれば、１回か２回しか行くことができなかった学校もあります。しかし、どの学校に行っても、元気な子どもたちの笑顔に出迎えられました。本当にありがたいことだと思いました。

平戸に住んだこの３年間、私はたくさんのすばらしい体験をし、大切な思い出を作ることができました。そして、平戸をますます好きになりました。一生心に残る大切な日々を過ごすことができました。

これからは、日本とオランダの架け橋として役に立つことができるように、頑張っていきたいと思います。３年間、平戸のみなさんには大変お世話になりました。本当にありがとうございました！Doei！

■今日のオランダ語ワンポイントレッスン

Doei！(デゥイ)＝じゃあね
Tot ziens(トッテ・ゼィンス)＝またね
Vaarwel(ヴァールウェル)＝さようなら

平戸のわっかもん vol.22

坂本（さかもと）　晃生（こうせい）さん（21歳・生月町壱部免）

「常に笑顔で過ごしていただけるよう
心がけています」

■勤務先
グループホームいなほ
■ニックネーム
さかもっちゃん
■性格は？
のんびり
■趣味・特技
格闘技観戦、ドライブ

高校卒業後、専門学校で介護福祉士の資格を取得した坂本さんは、昨年の４月に、グループホームいなほに就職。「この仕事は、いろいろな人と接する機会があるので勉強になります。入所者のみなさんには毎日笑顔で過ごしていただけるよう、その人に合った対応を心がけています」と坂本さん。「入所者のみなさんと気持ちが通じ合った時は本当に嬉しく、その瞬間のために働いています」と、笑顔で語ってくれました。

Happy Birthday
★お誕生日おめでとう！★ **8月生まれ**

兄弟仲良く
元気に育ってネ！

青﨑（あおさき）　寛宗（ひろむね）くん　直継（なおつぐ）くん
（H16.8.15生）（H18.8.22生）
～庄一郎さん・智沙さんの長男・次男～
≪前津吉町≫

優しい男の子になってネ！

竹田（たけだ）　青良（せら）くん
（H18.8.16生）
～直樹さん・千春さんの三男～
≪生月町里免≫

いたずらばかりしないでネ！

平野（ひらの）　礼樹（らいき）くん
（H18.8.26生）
～毅さん・綾さんの長男～
≪戸石川町≫

募集しています
大募集！「まちのひとびと」へあなたも投稿しませんか？

「平戸のわっかもん」
平戸のまちで働く“わっかもん”を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」
スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「HappyBirthday」
発行月にお誕生日を迎える３歳までのお子さんを募集します。掲載は先着３人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。
○応募方法　写真にお子さんの名前（ふりがな）・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはＥメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた作品は必ずしも掲載するとは限りませんのでご了承ください。

あて先　〒859-5192　平戸市岩の上町1508番地３　企画課地域振興班　E-Mail　kikaku@city.hirado.lg.jp

Town's People まちのひとびと CLOSE UP!
Club Introduction
クラブ紹介

「総流空手道大川原支部」

活動ＤＡＴＡ
活　動　日／木曜日　　午後６時30分～午後８時
　　土・日曜日 午後６時～午後８時
活動会場／大川原小学校体育館
対　象　者／どなたでもOK
連　絡　先／代表宅　☎28-1191
部　員　数／53人
参　加　費／無料
代　　表／監督　永田　平さん（大川原町）

**「空手道を通して、
心身の鍛錬を行っています」**

総流空手道大川原支部は、昭和60年に大川原小学校で活動を始めてから、今年で22年目を迎える空手道のクラブです。体力を養うことと、道徳を身につけることの２つを目的として活動しています。高校生以下については、将来、嫌なことやつらいことがあっても耐えることができる人間になるように、社会人については、常に正しいことを行う人間でいられるように、稽古に励んでいます。参加者の年齢層は幅広く、５歳から46歳までの会員が集まって活動しています。市民体育祭や、市防犯少年武道大会にも参加しています。

「田平三味線教室」

活動DATA
活　動　日／火曜日　午後7時30分～午後9時30分
活動会場／田平町民センター和室
対　象　者／どなたでもOK!
連　絡　先／代表宅　☎57-0260
部　員　数／12人
参　加　費／お問い合わせください。
代　　表／代表　吉野　安麿さん（田平町山内免）

**「お互い楽しく、喜びをモットーとして
日々練習に励んでいます！」**

田平三味線教室は、平成14年から活動を始め今年で６年目を迎えました。各種演奏会などにも積極的に参加しており、老人ホームなどへの訪問演奏なども数多く行っています。メンバーの年齢層は幅広いですが、和気あいあいとした雰囲気の中、講師の浅野寿子先生（佐世保市）の熱心な指導のもと、毎回楽しく練習に励んでいます。昨年から、田平地区のＡＬＴ（外国語指導助手）を勤めるシャノンさんも入部。シャノンさんは、10月に行われる田平町文化祭が初ステージになるそうで、「三味線のほか、唄や太鼓にも挑戦します。ステージに上がるのが楽しみです」と話していました。

PHOTO
まちのできごと
NEWS

感動呼ぶ意見発表　次々と

６月16日、北部公民館で、第２回少年の主張大会が行われました。大会には、市内の全小・中学校29校から各校で選考された代表者29人が参加し、家族や命などをテーマに意見発表しました。中学生の部で最優秀賞を受賞した高増あずささん(南部中３年)は、９月に西海市で開かれる「少年の主張長崎県大会」に、特別賞を受賞した井元裕夏さん(度島中３年)は、８月に佐世保市で開かれる「第57回社会を明るくする運動中学・高校生弁論大会」に平戸市の代表として出場します。

平戸口区が6連覇

６月17日、田平中学校体育館と北松農業高校体育館で、「第40回田平町区対抗バレーボール大会」が開催されました。16地区から17チーム約200人が参加し、それぞれの地区からたくさんの応援団が駆けつけました。白熱した試合を繰り広げる地区の代表選手たちに、応援団のみなさんは、熱い声援を送っていました。

大会結果は次のとおり。

【優　勝】　平戸口区
【準優勝】　深月区
【３　位】　釜田区、永田区Ａ

小学生が税を学びました！

６月19日、平戸税務署を、大島小学校の４年生15人が社会見学に訪問。署内を案内してもらいながら、国税についての説明を受けました。その後、同署の会議室で、クイズを交えながら、税金がどこで、どんな場合に使われているか、詳しい説明を受けました。児童のみなさんは「学校や体育館が税金で建っていることなど、税金がみんなの役に立っていることを初めて知りました」と話していました。当日は平戸警察署と平戸消防署も訪問し、それぞれの仕事について説明を受けました。

市民のみなさんに功労表彰！

６月26日、日本赤十字社長崎県支部久保紘遠(ひろとお)事務局長が平戸市役所を訪れ、白濵市長に表彰状が手渡されました。これは、平成14年からの５年間、市民のみなさんから社費への協力が多かったとして、その実績を評価され功労表彰を受けたものです。日本赤十字社には、善意ある市民のみなさんが社費として毎年500円以上ずつ拠出しており、日本赤十字社は、その活動資金のほとんどをこの社費で賄っています。今回は平戸市のほかに、江迎町、東彼杵町、島原市が功労表彰を受けました。

今年で20回目！がわっぱ祭り

７月21日、田平町民センターで、がわっぱ祭り(同祭伝承会主催・浦川俊介会長)が行われ、田平地区の小学生約100人が参加しました。カッパにまつわる伝承にちなんだこの祭りは、今年でなんと20回目。参加した児童のみなさんは、みこし車を引いて町内をパレードし、カッパの供養塔前で水難事故防止を祈願しました。

また、同センターでは、田平中学校の出口知利教諭が20回目を記念して作成したモニュメントが披露されたほか、約20mのかっぱ巻き作りやがわっぱ相撲が行われました。

猶興館高校　理数科最優秀賞

６月11日、長崎北陽台高校で行われた理数科高等学校課題研究発表大会に猶興館高校が出場し、「果実中のタンパク質分解酵素の有効利用」について、研究成果を発表。見事最優秀賞を受賞しました。

なお、同校は、８月17日に、福岡市で開催される、中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表会に、長崎県代表として出場します。

出場メンバーは次のとおり(敬称略)。

○柳田　大輔、松本　旭人(あきひと)、種岡　瑞穂(みずほ)
内藤　祥子(しょうこ)、林　雅(みやび)、平畑　沙耶

バレーを通じて親睦深める

６月14日、15日の両日、大島中学校体育館で、「職場職域対抗ふれあいバレーボール大会」が行われ、島内外から11チーム、約200人が参加しました。選手のみなさんは、日ごろから親しんだ職場の仲間と和気あいあいとした雰囲気の中で、珍プレーあり、好プレーありとバレーボールを通じて親睦を深めていました。

大会結果は、次のとおり。

【優　勝】　はな金バレーボールクラブ
【準優勝】　アグリビジネス

明治から続く、伝統の奉納相撲

６月28日、生月町中央相撲道場で、住吉白山神社奉納大相撲（壱部浦青年会主催）が開催。幼児から大人まで約250人の力士が参加しました。土俵上では、幼児の土俵入り、化粧まわしを締めた保育園児たちが踊る相撲甚句、年代別対抗戦や職場対抗戦での成人力士の迫力ある相撲などが繰り広げられました。

この奉納相撲は、明治時代から継承されており、商売繁盛、大漁満足、五穀豊穣および海上安全、無病息災を祈願し、毎年開催されています。

近所の人たちが大声援

７月１日、生月町勤労者体育センターで、第39回生月町町民運動会が開催され、約２千人が参加しました。この運動会は、町内10地区の地区対抗戦で、園児のかけっこや職場・職種リレー、むかでリレーなど22種目の競技が行われ、8種目で採点が行われました。プログラム最後の地区対抗リレーでは、応援のみなさんは身を乗り出して、割れんばかりの声援を送っていました。

【団体の部】　優勝　浦南地区　**２位**　屋敷地区
３位　山田地区　**躍進賞**　浦南地区

気・剣・体一致の演武に陶酔

７月１日、平戸小学校体育館で、第37回長崎県段別居合道選手権大会（財団法人長崎県剣道連盟主催）が行われ、市内外から約120人が参加しました。

試合は、段別にトーナメント制で行われ、選手の無言の気迫、太刀から発する刀鳴りの中で、気・剣・体一致の演武が次々と行われ、会場を訪れた観衆を酔わせていました。

市内参加者の入賞者は次のとおり（敬称略）。

【五段の部】　２位　岩男　徹史（厚海会）
【六段の部】　２位　金丸　律子（厚海会・写真）

市民の財産は私たちが守ります！

７月３日、市ふれあいセンターで、女性消防隊結成式が行われました。この平戸市初の女性消防隊には、紐差地区の女性７人が入隊。隊長の小下とし子さんが、「郷土を愛する精神のもと、長崎県の代表として誇りと自信を持ち、操法の技術と隊員の士気を向上できるよう、これからの操法訓練に精進します」と力強く宣言しました。

女性消防隊は、これから約４か月間の厳しい訓練を受けた後、10月25日に横浜市で開催される、「第18回全国女性消防操法大会」に出場します。

笑いながら 男女共同参画について勉強

７月８日、生月町中央公民館で、母子寡婦福祉会総会が開催。午後からの勉強会で、人権擁護委員会が企画した、サークルおばしゃま＆おんちゃまによる、「男も女もつんのうでいこかい」と題した寸劇が披露されました。

これは、女性ばかりでなく、男性も家庭で家事をしてくださいという内容で、脚本も人権擁護委員会のみなさんで作成。平戸市での公演は始めてでしたが、方言をまじえたコミカルな劇に会場には大きな笑いと拍手が起こっていました。

韓国の高校生と一緒に学習

７月10日、北松農業高校へ韓国光東高等学校から２年生36人が訪れ、生徒のみなさんと交流しました。

両校は、平成12年から修学旅行を通じて相互交流を続けており、平成17年12月に姉妹校を締結。県内の県立高校で韓国の高校と姉妹校締結をしたのは、同校が初めてでした。光東高校の生徒らは、農業科学科ほか、４学科に分かれ、牛のブラッシングやバイオテクノロジー実験などを体験。昼食には一緒に作ったカレーを食べて交流を深めていました。

アジアの英雄 鄭成功の遺徳たたえ

７月14日、平戸文化センターで、鄭成功生誕祭（平戸観光協会主催）が開かれました。鄭成功は、福建の有力な貿易商、鄭芝龍を父に、平戸出身の田川マツを母に平戸で生まれ、抗清闘争の代表的指導者で、今も中国や台湾では尊敬を集めています。

生誕祭では、地元の関係者を始め、台湾からの親善訪問団など約200人が参列。鄭成功の遺徳をたたえ神事が行われると、中野愛児園の園児のみなさんが和太鼓演奏を、中野地区保存会のみなさんが「ジャンガラ」を奉納しました。

流木処理問題 迅速な対応に感謝状

７月17日、亀山八幡宮（佐世保市八幡町）で、海の日式典が行われ、九州地方整備局長感謝状として、長崎港湾・空港整備事務所長から、平戸市を代表して出席した白濵市長に感謝状が贈られました。これは、昨年７月ごろ県内の広い海域で起きた流木処理問題で、平戸市が流木処理対策本部を設置すると共に、市民のみなさんと行政が一体となって、市内沿岸に漂着した流木を迅速に回収したことから、同局業務の後方支援に尽力いただいたものとして贈られたものです。（写真は、昨年の自主回収時の様子）

平戸遺産

県指定史跡文化財

日中交流の証

Vol.22

平戸の六角井戸

明（中国）の海商であった王直は、1542（天文11）年に松浦家25代隆信（道可）の優遇を得て、勝尾岳の東側のふもとに唐風の建物を建てて住居とし、ここを貿易の拠点とします。貿易は平戸ににぎわいをもたらし、多くの中国商人がこの地に定住するようになりました。この中国商人の居住地域に、現在まで残る遺構として、六角井戸があります。同様の井戸が、やはり王直が貿易拠点としていた五島列島福江島に六角井（県指定史跡・昭和29年12月21日指定）として存在します。なぜ六角形なのかは不明ですが、中国との交流があったことを示す貴重な遺構です

文化財ＤＡＴＡ

- 名　称　平戸の六角井戸
- 種　別　県指定史跡文化財
- 指定年月日　昭和50年１月７日
- 所有者　浦の町
- 所在地　鏡川町

鄭成功居宅跡

鄭成功は、父が中国の貿易商鄭芝龍、母が川内町の日本人女性で、7歳まで川内町で過ごしています。指定地には成功が植えたと伝えられるナギの木が残り、隣接する観音堂には中国の船の守り神とされる媽祖と随身（市指定文化財・昭和52年3月1日指定）が祭られています。また、近くの千里ヶ浜には鄭成功が生まれたとされる児誕石や、後年鄭成功の事績を記した鄭成功碑文などがあります。

さて、7歳で中国にわたった鄭成功は、やがて父鄭芝龍とともに当時清朝から攻められていた明朝を助け清朝に抵抗します。その後、鄭芝龍は清朝に投降しますが、鄭成功はその後も明朝を助け続けます。そして、反抗の拠点とするため、台湾を支配していたオランダ人を追い出し台湾を解放します。しかし、台湾を解放した翌年、鄭成功は若くして病に倒れました。

台湾解放の英雄として、鄭成功は現在も厚く信仰されています。

日本国内では、江戸時代に彼の生涯を素材とした近松門左衛門作の人形浄瑠璃「国性爺合戦」が人気を博し、広く一般に知られるようになりました。

文化財ＤＡＴＡ

- 名　称　鄭成功居宅跡
- 種　別　県指定史跡文化財
- 指定年月日　昭和16年１月17日
- 管理者　平戸市
- 所在地　川内町

平戸オランダ商館風説書

～連合オランダ東インド会社について(2)「東インド総督」～

大航海時代の船は帆船ですから、オランダから「東インド」への航海は、長い時間がかかり、また、通信手段も当時は船に頼るしか方法がありませんでした。そのため、遠く離れた地域を効率的に運営する体制が必要となります。

そこで、東インド会社は、1609年にバタビア（現在のインドネシアのジャカルタ）に「東インド政庁」と長官である「東インド総督」を設置します。平戸オランダ商館をはじめとする東アジアや東南アジア各地の商館は、実質的にはこの東インド総督の監督のもとに運営されていました。

オランダからの指令書は、まず東インド総督の元へ届けられ、必要に応じて各地の商館に伝えられます。例えば、「お茶が流行しつつあるので手配して欲しい」と言う指令がオランダより伝えられると、総督は平戸オランダ商館に対してお茶の購入と輸送を指示します。平戸のオランダ商館長はこの指令に従って、お茶を入手しバタビアへ送ります。もちろん、平戸以外の商館へもさまざまな指令が送られています。

このように、東インド会社は東インド総督を中心とする各商館とのネットワークが形成され、東インドでのオランダの立場を強固なものにしていきました。

■お問い合わせ　文化振興課和蘭商館復元推進班（☎内線2635）

「20代や学生の人は次の制度のご利用を」

おしえて！年金

■保険福祉課国保年金班（☎内線2590）■佐世保社会保険事務所（☎0956-34-1141）

○国民年金保険料の納付猶予

30歳未満で所得の低い人や、収入がない学生は、申請をして承認を受けると国民年金保険料の納付が猶予されます。猶予期間中に、万が一事故や病気などで障害が残ったときでも、一定の要件を満たしていれば障害基礎年金を受けることができます。

この猶予期間は、老齢基礎年金を受けるための期間には算入されますが、年金額の計算には算入されません。将来、老齢基礎年金を満額受給するためには、猶予期間中の保険料を全額納付することが必要です。猶予された期間の保険料については、納期限から10年以内であれば、後からでも納付することができます。

申請は、住民票がある市町村の窓口で行うことになります。30歳未満で所得の低い人であれば毎年７月以降、学生であれば４月以降の受付となりますが、申請が遅れた場合でも要件を満たしていれば、遡及して猶予を受けることができます。

該当すると思われる人は、保険福祉課国保年金班、または佐世保社会保険事務所へ、まずはご相談ください。

みんなの図書館（としょかん）

新着図書紹介

このほかたくさんの新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

［8月の休館日］
毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)

一般書

今月のおすすめ本

『桂三枝のああ夫婦』
著者名／桂　三枝
出版社／大和書店

男は、ヨメはんにはかないません！国民的長寿番組「新婚さんいらっしゃい!」で、軽妙な司会を続けて37年目の桂三枝が語る相性の謎から、ご飯の話、お金の話まで。

- 夜明けの街で／東野　圭吾
- ロック母／角田　光代
- 塩の街／有川　浩
- 永遠のとなり／白石　一文
- ワーキング・ホリデー／坂木　司
- クロスカウンター／井上　尚登
- かってまま／諸田　玲子
- 陰陽師　夜光杯ノ巻／夢枕　獏
- 日本人が行けない「日本領土」／山本　皓一
- 原爆症／郷地　秀夫
- 離島発生き残るための10の戦略／山内　道雄
- 日本手話とろう文化／木村　晴美
- おいしいにんにく料理／佐野　房
- グリーンBOOK／オレンジページ
- ご飯を大盛りにするオバチャンの店は必ず繁盛する／島田　紳助

今月のおすすめ本

『永井隆　平和を祈り愛に生きた医師』
著者名／中井　俊巳
出版社／童心社

ねがわくば、この浦上をして世界最後の原子野たらしめたまえ－。白血病を背負い、原爆の被害にあいながらも、医者として力をつくし、たくさんの本を書きながら平和を訴え続けた医師・永井隆の生涯をたどる。

児童書

- わたしはあなたをあいしています／宮西　達也
- ぼくと弟はあるきつづける／小林　豊
- せとうちたいこさん　わらべうたうたいタイ／長野ヒデ子
- からすのたまごにいちゃん／あきやまただし
- だめだめすいか／白土あつこ
- コブダイ　弁慶の海／なかむらこうじ
- 雨がふったら、どこへいく？／ゲルダ・ミューラー
- 舞は10さいです。／あさのあつこ
- 最後の相談メール／令丈ヒロ子
- カワセミの森で／芦原すなお
- いのちのバトンリレー／関　朝之
- マチルダばあやといたずらきょうだい／クリスティアナ・ブランド
- ハンナ／ジャン＝クロード・ムルルヴァ
- 中学生理科の自由研究　ベーシック／永岡書店
- ふしぎおりがみ／新宮　文明

●8月の主なもよおし●

- 工作教室　4日(土)午後1時30分～
  北部公民館2F研修室・講座室
- 布ぞうり教室　19日(日)午後1時30分～
  北部公民館2F和室
- おはなし会　毎週土曜日　午後2時～
- 赤ちゃんおはなし会　14日(火)午前10時30分～

永田記念図書館 ☎28-0128

［8月の休館日］
毎週月曜日(6日・13日・20日・27日)

一般書

今月のおすすめ本

『のんびり行こう! 九州山歩きガイド』
監　修／友遊山歩きの会
出版社／メイツ出版

変化に富んだ山歩きを楽しむ事ができます。自分たちの実力に合わせたコース設定をされることをお勧めします。どんな山も危険と隣り合わせであることを忘れず、しっかりと計画をたてて登ってみませんか？

- 伊藤家の食卓　不滅の裏ワザ大全集　BEST100／伊藤家
- 狂った裁判官／井上　薫
- いじめに負けない心理学／加藤　諦三
- ヤンボコ　母校　北星余市を去るまで／義家　弘介
- アスペルガー症候群のすべてがわかる本／佐々木正美
- 昭和すぐれもの図鑑／小泉　和子
- 食べてきれいになる137レシピ／平石　貴久
- マタニティ操体／細川　雅美
- 学級劇・学年劇脚本集　低学年／小川　信夫
- 子どもと遊ぶ英会話「小学生版」／アン・アカマツ
- 恋七夜／安部龍太郎
- ノーフォールト／岡井　崇
- 停年退職　上・下／源氏　鶏太
- 十津川警部捜査行　阿蘇・やまなみ殺意の車窓／西村京太郎
- その思い出いただきます／山本　成美

今月のおすすめ本

『アフリカの音』
作・絵／沢田　としき
出版社／講談社

西アフリカの太鼓とダンスの絵本です。太鼓は、太陽の光を浴び大地のエネルギーを吸収して育った木と、一枚一枚に大切な命がかかわっているヤギの皮でできてます。

児童書

- ぽぽんぴ　ぽんぽん／ささめやゆき
- うみだ、うみだ～！／テリー・ジョンスン
- しずかなまひる／片山　健
- うそうさぎ／谷川　晃一
- あおいちょうとくすのき／沢田としき
- かわあそび／笠野　裕一
- モグラの生活／飯島　正広
- あさよる、なつふゆ　ちきゅうはまわる／かこさとし
- ことりのうち／さとうわきこ
- こびとづかん／なばたとしたか
- ピッピ、南の島で大かつやく／イングリッド・ヴァン・ニイマン
- 男の子とおおきなさかな／マックス・ベルジュイス
- まじょ子のおしゃれプリンセス／藤　真知子
- オンナらしさ入門(笑)／小倉千加子
- まんが　ことばの使い分け辞典／金田一秀穂

●8月の主なもよおし●

（各土曜日・各午後2時～）

- おはなし会(絵本・大型絵本・紙芝居など) 18日・25日
- 楽しい工作　4日（土）　午後2時～午後4時

※今月の映画会はありません。

※市立図書館の本は、各公民館をとおして貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館などの図書室へお尋ねください。

特別支援教育支援員を募集します

問 学校教育課指導班 ☎内線2612

市内の小・中学校で、教員の補助として、心身にさまざまな障害などがある児童・生徒の学習や生活上の支援・介助を行う特別支援教育支援員を募集しています。

○募集対象者
①昭和22年4月2日から昭和62年4月1日の間に生まれた人
②学校教育に関心があり、児童・生徒とともに明るく活動できる人
③特に資格は問いません
○募集人員　若干名
○勤務条件
①身　分　市臨時職員（パート職員）
②雇用期間　平成19年9月3日(月)～平成20年3月24日(月)
※ただし、学校休業日を除く。
③勤務場所　市内該当小・中学校
④勤務時間　週29時間
⑤給　与　時給700円(教員免許など所有の場合は820円)
⑥備　考　交通費・保険なし
○提出書類
①市販の履歴書、または平戸市臨時職員登録申込書　1部
※所定の登録申込書は、市ホームページの「お知らせ・ご案内」→「募集」→「特別支援教育支援員を募集します」からダウンロードできます。また、学校教育課、各支所総務企画課に準備しています。
②各種免許がある場合は、免許状のコピー　1部
③返信用封筒　1通(あて先明記)
○申込期間　7月2日(月)～8月17日(金)
○選考方法　書類審査の上、面接を行い決定します。

「ひらど寺子屋塾」に参加してみませんか

問 企画課地域振興班 ☎内線2333

市民のみなさんと、一緒にまちづくりを進める協働型社会の実現を目指し、「ひらど寺子屋塾」を開催します。

協働とは、市民と行政がお互いを理解・尊重しながら、それぞれの役割を担い、共に地域を支えあう仕組みのまちづくりです。

今回、一緒に協働のまちづくりについて考えていただける人を募集します。まちづくりに興味がある人は、ぜひ、ご応募ください。

○募集人員　20人程度
○応募条件　市内に居住または勤務している20歳以上の人
○とき　8月30日～9月20日（毎週木曜日・全4回）
午後7時～午後8時30分
○ところ　北部公民館
○参加費　無料
○応募期限　8月24日(金)
○応募方法　メールおよび電話
○申込先　企画課地域振興班
E-mail kikaku@city.hirado.lg.jp

「特定公共賃貸住宅」入居者募集

問 都市計画課総務住宅班 ☎内線2283

市で管理している特定公共賃貸住宅の入居者を募集します。特定公共賃貸住宅とは、所得制限によって他の市営住宅に入居できない世帯のために建設された住宅です。入居を希望する人は、都市計画課、または各支所建設課にお申し込みください。

○募集戸数　4戸
生月地区　代作団地　2戸
みなみヶ丘団地　1戸
田平地区　日の浦団地　1戸
○提出期限　8月15日(水)
※郵送でも受け付けます。
○申込資格　原則として、次の全ての要件を満たしていることが必要です。
①現に同居、または同居しようとする親族があること。
②収入が基準内であること
③地方税などの滞納がないこと
○添付書類　①世帯全員の源泉徴収票、または所得証明書②納税証明書③住民票謄本

新潟県中越沖地震の義援金を受け付けます

問 福祉事務所総務班 ☎内線2562

市では、今回の大震災による被災地救援のため、本庁、各支所、各出張所に義援金の受付箱を設置します。

また、団体での義援金は、福祉事務所または各支所・各出張所の窓口で受け付けます。市民の善意により集められた義援金は、日本赤十字社を通じ被災地域へ送られます。

○受付期間　8月1日(水)～8月31日(金)

戦後62周年 みなさんで黙とうを

問 福祉事務所総務班 ☎内線2563

原爆の犠牲になられた方や、戦争で犠牲になられた方のご冥福を祈って、次の日時にサイレンや鐘を吹鳴します。黙とうを捧げ、平和への誓いを新たにしましょう。

○県民祈りの日
（長崎市に原子爆弾投下）
8月9日(木)午前11時2分

○全国戦没者追悼式
（太平洋戦争終結）
8月15日(水)正午

空き家を探しています

問 企画課地域振興班 ☎内線2335

市では、団塊の世代の大量退職に伴い、東京や大阪など都市圏などから本市へ移住したいという人へホームページなどで住まいや生活情報などの提供を行っています。

しかし、提供する空き家物件の情報が少なく、現状では本市への定住希望者のニーズになかなか応えられない状況となっています。

つきましては、市内に空き家をお持ちの人で貸しても良いという人がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

○空き家物件の条件　おおむね改修・改装費用が10万円以内の空き家物件

○その他　ご提供いただく空き家については、不動産事業者を仲介して賃貸することとなります。

国民年金の納付記録台帳の写しを無料交付します

問 保険福祉課国保年金班 ☎内線2590

市では、「国民年金被保険者名簿（納付記録の個人台帳）」の写しを希望者本人に対して無料で交付することにしました。

国民年金の記録は、国（社会保険庁）のコンピュータに収録・管理されており、これが記録の原本（元台帳）となります。「国民年金被保険者名簿」は、平成14年3月まで国民年金保険料の収納事務を行うにあたって市が使用していたもので、いわば「控えの帳簿」となるものです。このたびの年金記録の問題を受け、希望者本人に無料で交付します。

○申込方法　年金手帳、または本人であることを確認できるもの（運転免許証など）を持参して、保険福祉課国保年金班、各支所市民生活課、各出張所に申し出てください。

浄化槽設置整備事業補助金の申請について

問 市民課環境交通班 ☎内線2528

現在、市浄化槽設置整備事業補助金を交付しています。平成20年3月31日までに浄化槽を設置予定で、まだ申請をしていない人は、10月末までに市民課環境交通班、または各支所市民生活課までお申込みください。

※補助金の交付については、予算の範囲内で対応します。

○補助対象者　市内に浄化槽（50人槽まで）を設置する人

安全・安心まちづくり条例を制定しました

問 市民課環境交通班 ☎内線2529

犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するために、警察と自治体、市民、事業者のみなさんが一体となって、「自分たちの安全は自分たちで守る」といった防犯意識を持ち、犯罪が発生しにくい環境づくりや地域の自主防犯活動を活発に行うことが大切です。

市では、各地域が防犯活動を効果的に続けていけるように、「安全・安心まちづくり条例」を制定しました。

この条例をもとに、関係機関、市民や事業者との連携を強めて、安全で安心なまちづくりに取り組んでいきます。

平成20年4月1日以降の児童扶養手当について

問 福祉事務所児童福祉班 ☎内線2570

児童扶養手当については、母子家庭の自立を促進するという目的で見直され、平成14年の法律改正により、手当を受けてから5年以上経過した人については、平成20年4月から、その一部が支給停止となります。

なお、母子家庭の自立支援に向けて、「子育てや生活の支援」、「就業支援」、「生活資金などの貸し付け」などを行っていますので、遠慮なくご相談ください。

児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届は8月31日(金)までに！

問 福祉事務所児童福祉班 ☎内線2570

児童扶養手当を受給している人は「現況届」、特別児童扶養手当を受給している人は「所得状況届」の提出が必要です。提出がないと、8月分以降の手当が支給されなくなりますのでご注意ください。

○届出期間　8月13日(月)～8月31日(金)

○届出先
・平戸地区　福祉事務所
・生月地区　生月支所・舘浦出張所
・田平地区　田平支所
・大島地区　大島支所

○持参するもの
▼児童扶養手当　①手当証書②印かん③養育費などに関する申告書④同一住所地の居住者などに係る申立書
▼特別児童扶養手当　①手当証書②印かん③同一住所地の居住者などに係る申立書④世帯全員の住民票⑤調査の同意書

※平戸中部・南部地区については、別日程で行います。該当者には、後日通知します。

※必要に応じて、所得証明書（平成18年分）や別居監護申立書などの書類を提出していただくことがあります。

広告事業を始めます

問 政策調整課行革推進室 ☎内線2483

市では、新たな自主財源確保による市民サービスの向上と、地域の活性化を図るため広告事業を実施します。今後、広報ひらどやホームページなどさまざまな媒体で広告の募集を行っていきますのでご理解とご協力をお願いします。

○広告掲載開始予定
▼広報ひらど
（広告代理店による広告募集）
平成20年1月号から
▼ホームページ（バナー広告）
（広告代理店による広告募集）
平成19年12月1日から
▼市の共通封筒
（広告代理店による無償提供）
平成19年10月から

※このほか、市の施設や各種印刷物など、今後さまざまな媒体での広告掲載を検討します。

青少年日蘭交流事業

VRIENDSCHAPPELIJK JAPAN-NEDERLAND JEUGDVOETBAL

オランダから少年サッカーチームがやってきます！

西暦2000年の日蘭交流400周年記念事業から継続して行っている平戸とオランダの少年たちとの交流事業は、今年で８回目になります。今回は、オランダ・ノールトワイケルハウト市から少年サッカーチームを招聘します。

サッカーの親善試合には、市内の中学生が参加するほか、滞在中は、市内の観光史跡見学や４日間のホームステイなどを通じて、異文化を理解しあい、国際交流を深めます。

◎主な日程◎

ホームステイ　8月16日～19日（4日間）
16日（木）　平戸着・市長表敬訪問
　　市内観光・歓迎交流会
17日（金）　たびら昆虫自然園見学
　　ホームステイ先地域での自由交流
　　たびら夏祭り見学
18日（土）　サッカー合同練習
　　書道・呈茶体験（松浦史料博物館）
19日（日）　サッカー教室
　　親善試合（ライフカントリー）
20日（月）　平戸発・帰国
※都合により変更する場合があります。

▲昨年のオランダでの交流試合で記念撮影

長崎県Uターン・大学等新卒者合同企業面談会

問県雇用労政課 ☎095-895-2715

Uターン希望者や大学新卒者などの就職機会の拡大と県内企業への就職促進を図るため、県内企業との合同企業面談会を開催します。

○**と　き**　8月16日(木)午後1時～午後4時

○**ところ**　佐世保市体育文化館

再就職希望者支援登録者募集中

問(財)21世紀職業財団長崎事務所 ☎095-827-1262

再就職の準備をしませんか？(財)21世紀職業財団長崎事務所では、無料で次のような支援を行います。

○**目　的**　妊娠・出産・育児・介護などで退職した人で、再就職を希望している人を対象にして、就職する準備を長期的に支援します。

○**支援内容**

①再就職希望者支援事業

・登録事業の実施

・情報提供の実施　インターネット情報誌「Re・Be」を年3回送付

・再就職準備セミナーの開催

・個別相談の実施

②再チャレンジサポートプログラム

専門のコンサルタントが個別にご相談に応じ、再就職へのプラン作りを支援します。

・再チャレンジサポートプラン作りのサポート

・企業と再チャレンジ女性との交流会

・職場体験講習の実施

道の駅スタンプラリー2007

問「道の駅」昆虫の里たびら ☎57-0144

県内の「道の駅」全8駅中5駅で、「橋スタンプ」を集めると、各種特産品が当たります。各「道の駅」にスタンプラリーシートを準備していますので、5駅分のスタンプを押したら、必要事項を記入して、道の駅の担当者へお渡しください。

○**期　間**　7月1日(日)～9月30日(日)

○**県内の「道の駅」**

・松浦海のふるさと館(松浦市)

・昆虫の里たびら(平戸市)

・生月大橋(平戸市)

・彼杵の荘(東彼杵町)

・さいかい(西海市)

・夕日が丘そとめ(長崎市)

・みずなし本陣ふかえ(南島原市)

・遣唐使ふるさと館(五島市)

キリシタン紀行～平戸への旅～実施中

申・問平戸観光協会 ☎23-8600

平戸の教会を巡り、わがまち平戸を再発見してみませんか。

○**実施期間**　8月31日(金)まで

○**料　金**　1人　3千円

○**行　程**　(午前9時出発～正午着)

平戸港交流広場→川内峠→宝亀教会→紐差教会→根獅子の浜→切支丹資料館→聖フランシスコ・ザビエル記念教会→平戸港交流広場

○**コース**　タクシー(4人以上・相乗り)、またはバス(8人以上)を選ぶことができます。

※ウェルカムガイド案内付き

○**申込み**　出発の前日までに、電話でお申し込みください。

学校公開のお知らせ

問県立佐世保養護学校 ☎0956-47-5966

県立佐世保養護学校は、本校の教育活動についての理解・認識を深めていただくことと、地域への特別支援教育の情報発信のために、学校公開を実施します。

○**と　き**　8月27日(月)午前8時45分～正午

○**ところ**　県立佐世保養護学校

○**対　象**　本校の教育や就学、進学について関心のある保護者および関係者

○**内　容**　施設見学、学校説明、質疑応答など

○**申込締切**　8月10日(金)

先着100名で締め切ります。参加申込みが必要です。

※運動場工事のため、校内には駐車場がありません。公共の交通機関をご利用ください。

第22回宝亀地区夏まつり大会

問同まつり事務局(石田) ☎28-1685

今年で22回を数える歴史ある夏まつりです。金魚すくいやカキ氷などの出店に、抽選会などのイベントも盛りだくさんです。帰省中の家族や友人と一緒に、夏の思い出づくりにぜひお越しください。

○**と　き**　8月14日(火)午後7時～

○**ところ**　宝亀小学校グラウンド

台風のシーズンがやってきます！

問九州電力(株)平戸営業所 ☎0120-986-401

台風により電柱が倒れたり、電線が切れたりする場合があります。近づいたり、触れたりすると大変危険ですので、発見した場合は最寄りの九州電力へお知らせください。

○**お詫び**　先月号(広報ひらど7月号)で、掲載していましたお問い合わせ番号に誤りがありましたので、お詫びいたします。

パーキング・パーミット制度が始まります

問県社会福祉課地域福祉班 ☎095-895-2423

県では、身障者用駐車場の適正な利用と、思いやりのあるまちづくりを目指し、8月から「パーキング・パーミット(身障者用駐車場利用証)制度」を開始します。ドライバーをはじめ、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

○**利用できる人**

①身体障害や知的障害、高齢などにより歩行困難な人

②けがや妊産婦など、一時的に歩行が困難な人

○**利用できる駐車場**

県と協定を結んだ施設の駐車場(駐車場にはステッカーが表示されます)

○**利用証の交付窓口**

①福祉事務所障害福祉班

②県社会福祉課、こども・女性・障害者支援センター

申請には、それぞれの状況によって、手帳や診断書が必要になります。詳しくは、県ホームページ(http://www.pref.nagasaki.jp/s_fukushi/)をご覧になるか、または県社会福祉課にお尋ねください。

ベビーマッサージのお知らせ

申問平戸市助産師会 ☎090-7453-6263

○**と　き**　第3～5木曜日　午後2時～午後3時30分

○**ところ**　北部公民館

○**対象者**　生後2か月～ハイハイするころまで(4～5人まで)

○**費　用**　1千円

○**申込み**　前日までに、電話でお申込みください。

○**その他**　母乳育児相談・思春期相談・更年期相談など、随時出張します。お気軽にご参加ください。

出生　元気なよい子に

赤ちゃん　保護者　行政区

【平戸地区】
日高 英恵 広季 下大垣
井元 璃湖 正信 度島中部
銀吉屋義宗 秀達 曲り
平松 杏那 規秀 堤
川上ひより 俊則 杉山
福田 涼介 健市 幸の浦
森田 礼恩 和行 中の原
森崎 幸聖 幸茂 根獅子第2
小山 瑞歩 志郎 稗田
中村 太紀 孝治 明の川内
小楠虎太郎 祐輔 上中津良

【生月地区】
田中 来武 良和 舘浦浜

【田平地区】
岩崎 康大 丈晴 下亀
三川 爽音 尚武 万場
針尾 咲生 勝裕 坊田

【大島地区】
川下 智久 孝幸 的山在

死亡

ご冥福をお祈りします

氏名　年齢　死亡日　行政区

【平戸地区】
松永 静 79歳 6／20 赤坂
田中 景子 65歳 6／21 船越
小田 鶴子 68歳 6／23 川内浦
岩本 アイ 82歳 6／24 田崎
園田 イ子 88歳 6／29 古江
井吉 鐵男 80歳 7／2 白浜
岡山 ツル 88歳 7／5 戸石川
井元ハルエ 93歳 7／9 田助在
新屋 ノイ 88歳 7／11 幸の浦
山口松太郎 85歳 7／13 薄香越
林 治美 54歳 7／13 野子

【生月地区】
久原鹿之助 82歳 6／16 壱部
増山 礼子 79歳 6／18 浦北
前田 英雄 63歳 6／24 山田
大川 久良 66歳 6／25 堺目
田中シズヱ 80歳 6／26 舘浦浜
田崎 ヨシ 88歳 7／5 浦南

【田平地区】
吉田 一茂 67歳 6／20 平戸口
唐津屋實雄 71歳 6／26 野田
吉賀 久枝 83歳 7／5 上里
丸田由美子 41歳 7／6 東荻田
堤 延一 84歳 7／8 坊田

【大島地区】
古川 春代 93歳 6／20 的山浦
永田 昭子 80歳 7／4 的山在

（6／16～7／15受付分）

善意のともしび

篤志および香典返しで、次の方々からご寄付がありました(敬称略)。

宝亀小学校へ
○宝亀町　火口　正博(亡父　熊一郎)

根獅子小学校へ
○根獅子町　出口　公臣(亡母　スエ)

度島小中学校へ
○度島町　冨島　豊
○度島町　古川　幸次
○長崎市　竹内　栄

■6月の交通事故

件　数	4件
死　者	0名
負傷者	8名

(重傷)0名 (軽傷)8名

■6月末までの火災救急件数

火災	27件(13件)
救急	579件(629件)

( )内は昨年同期